

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月5日

青森県知事 殿

提出者

住 所 仙台市青葉区国分町3丁目4番33号

氏 名 株式会社 竹中工務店 東北支店

支店長 佐久間 弘充

電話番号 022-262-1792

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物  
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 竹中工務店 東北支店 青森営業所
事業場の所在地	青森県青森市奥野1丁目11-2
事業の種類	建設業 06総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日まで

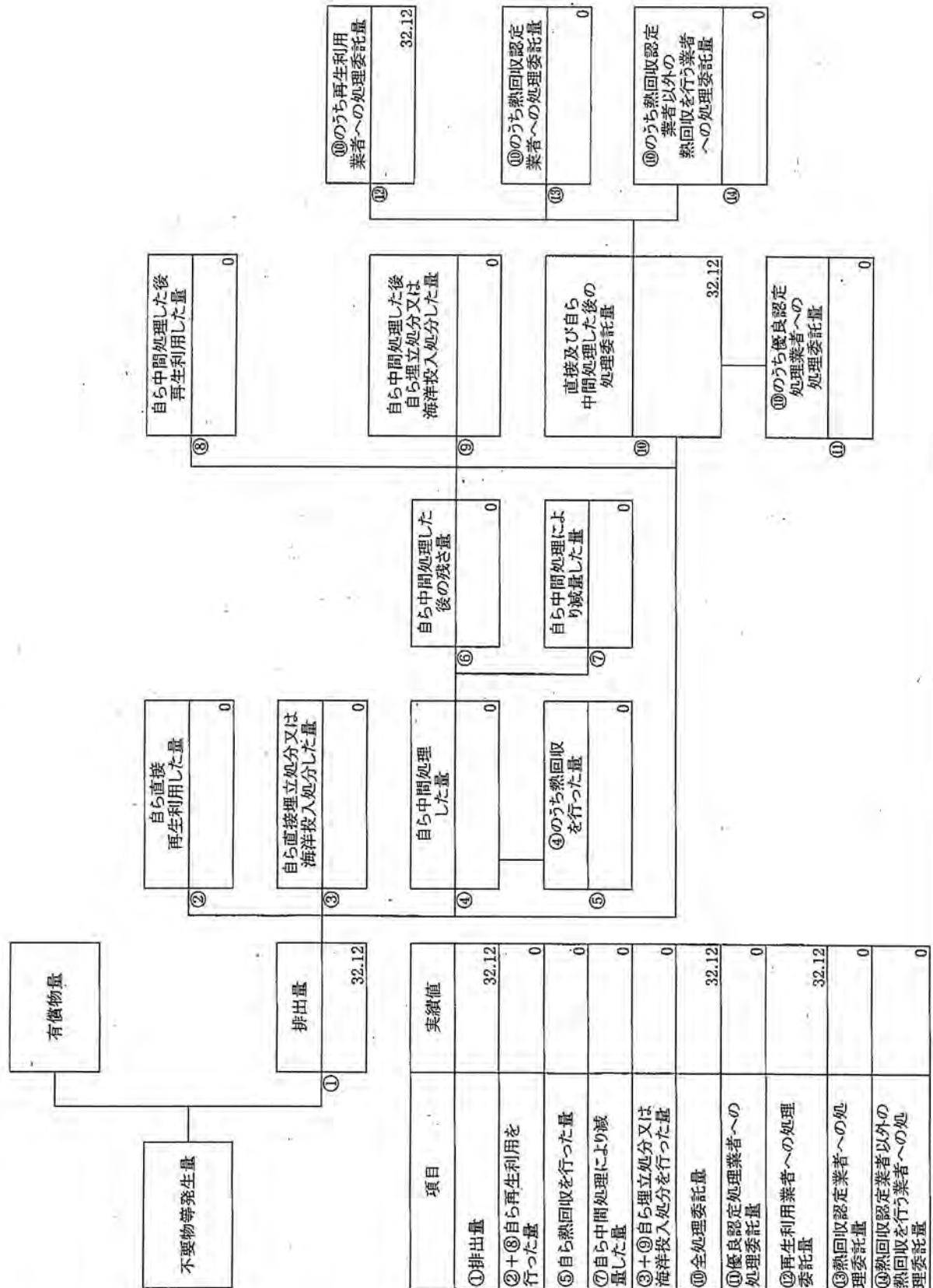
## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	770.0t	全 処 理 委 託 量	0.0t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.0t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	770.0t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.0t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0t

※事務処理欄

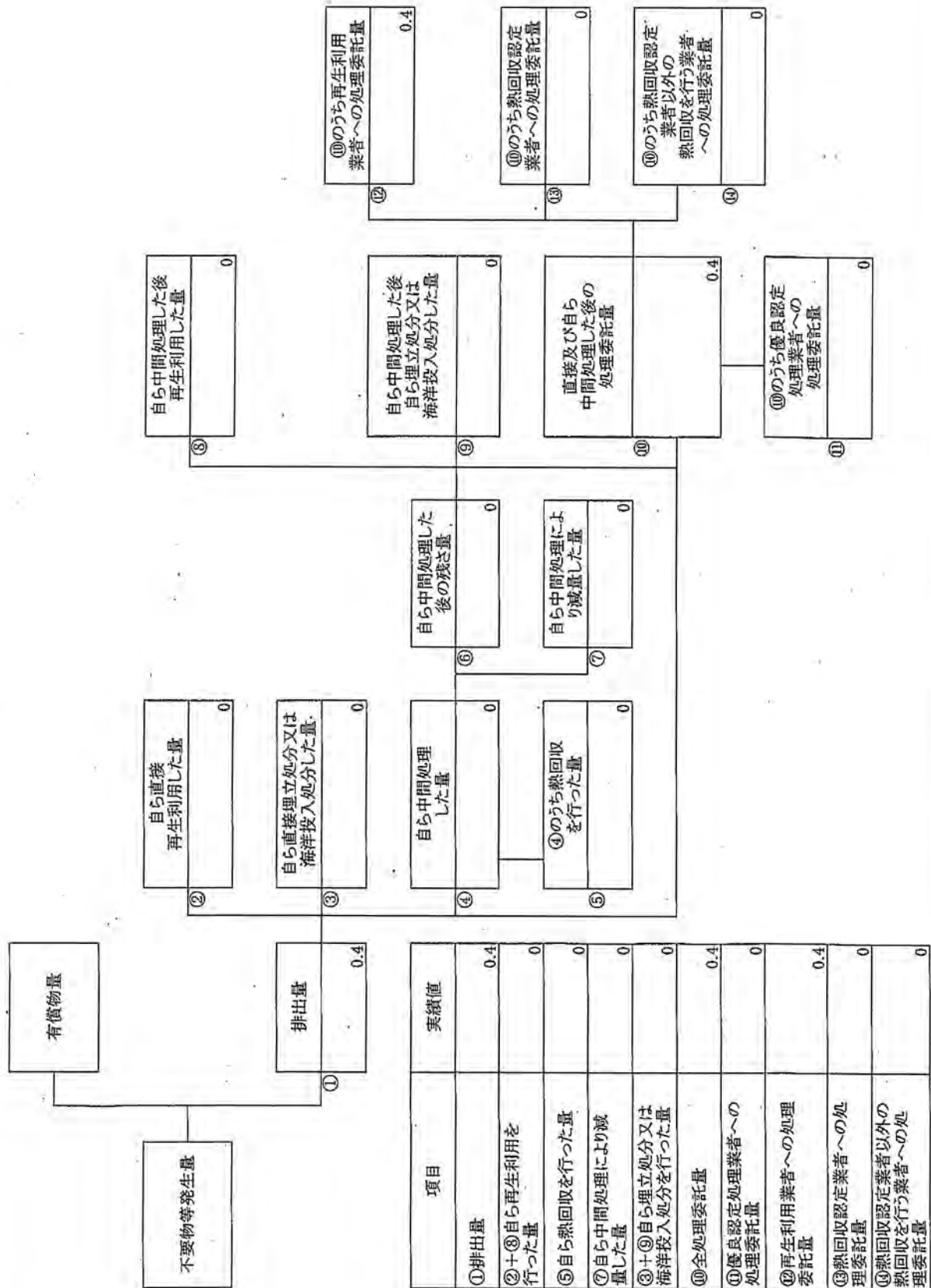
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)

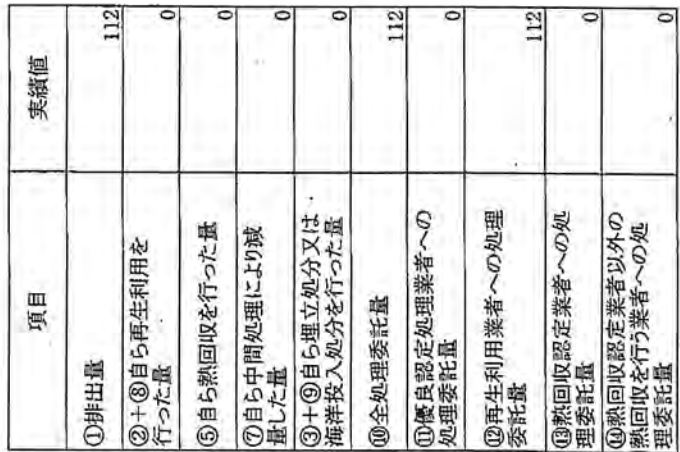


## 計画の実施状況

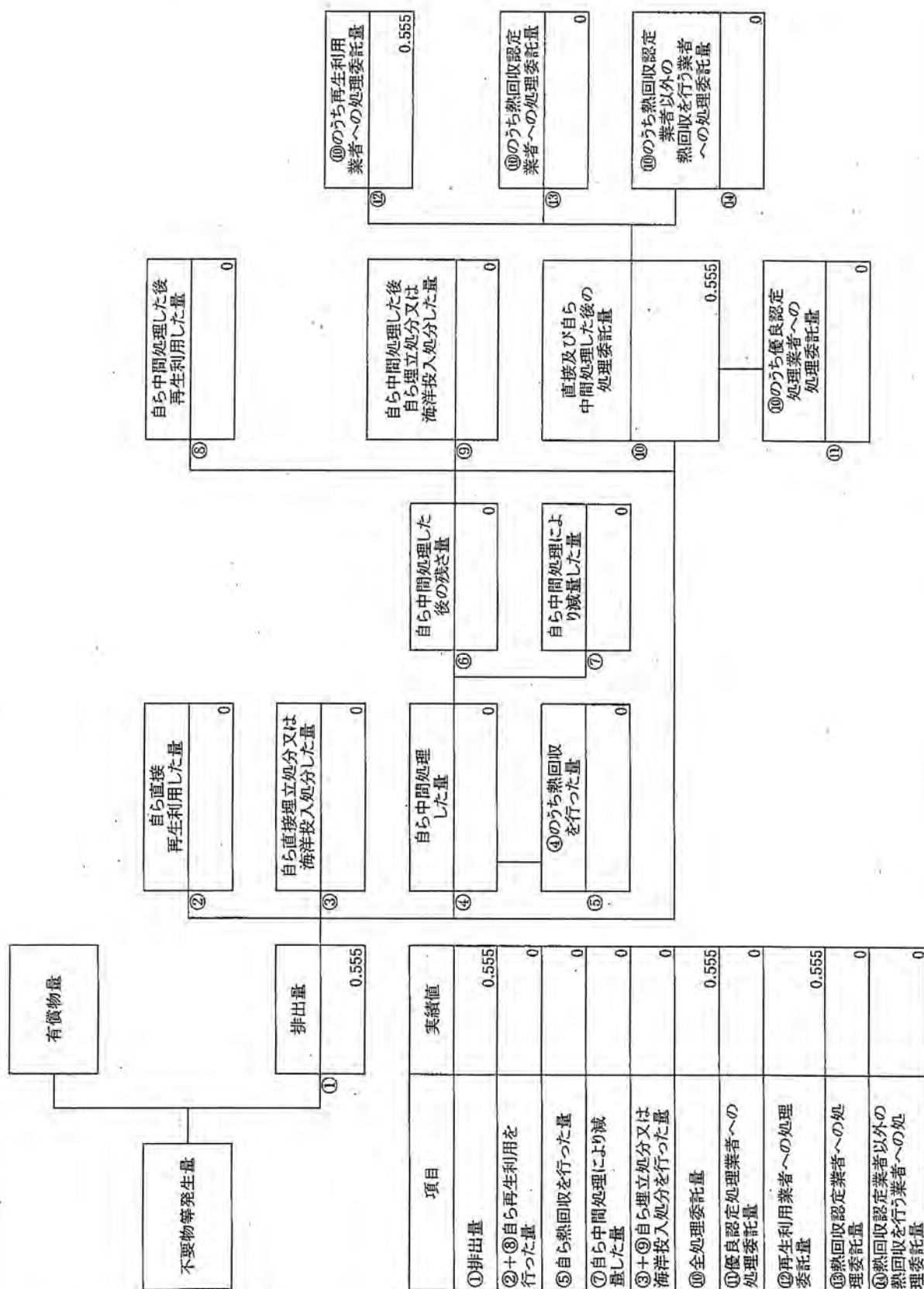
(産業廃棄物の種類: 廃油)



## 計画の実施状況

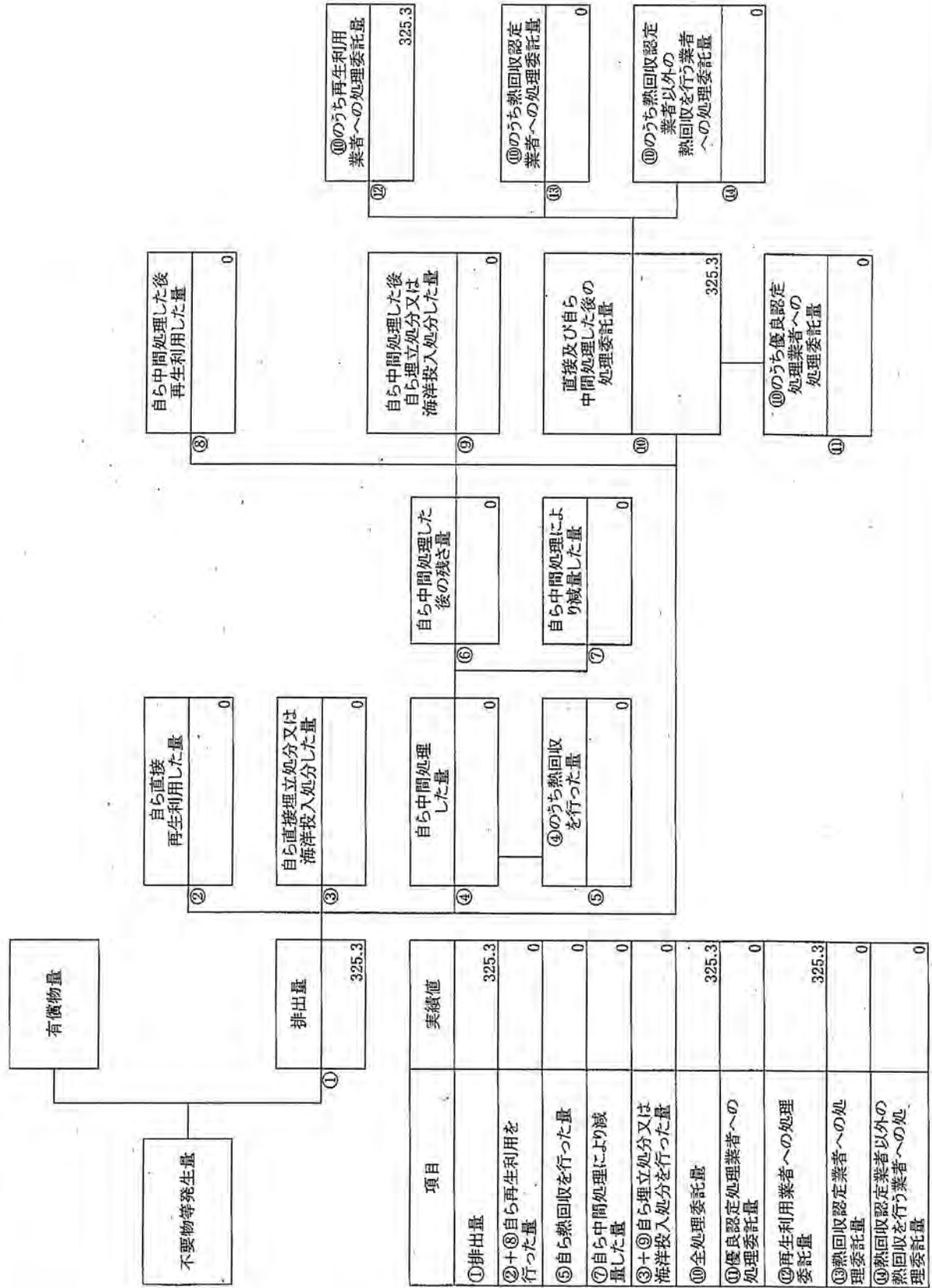


## 計画の実施状況



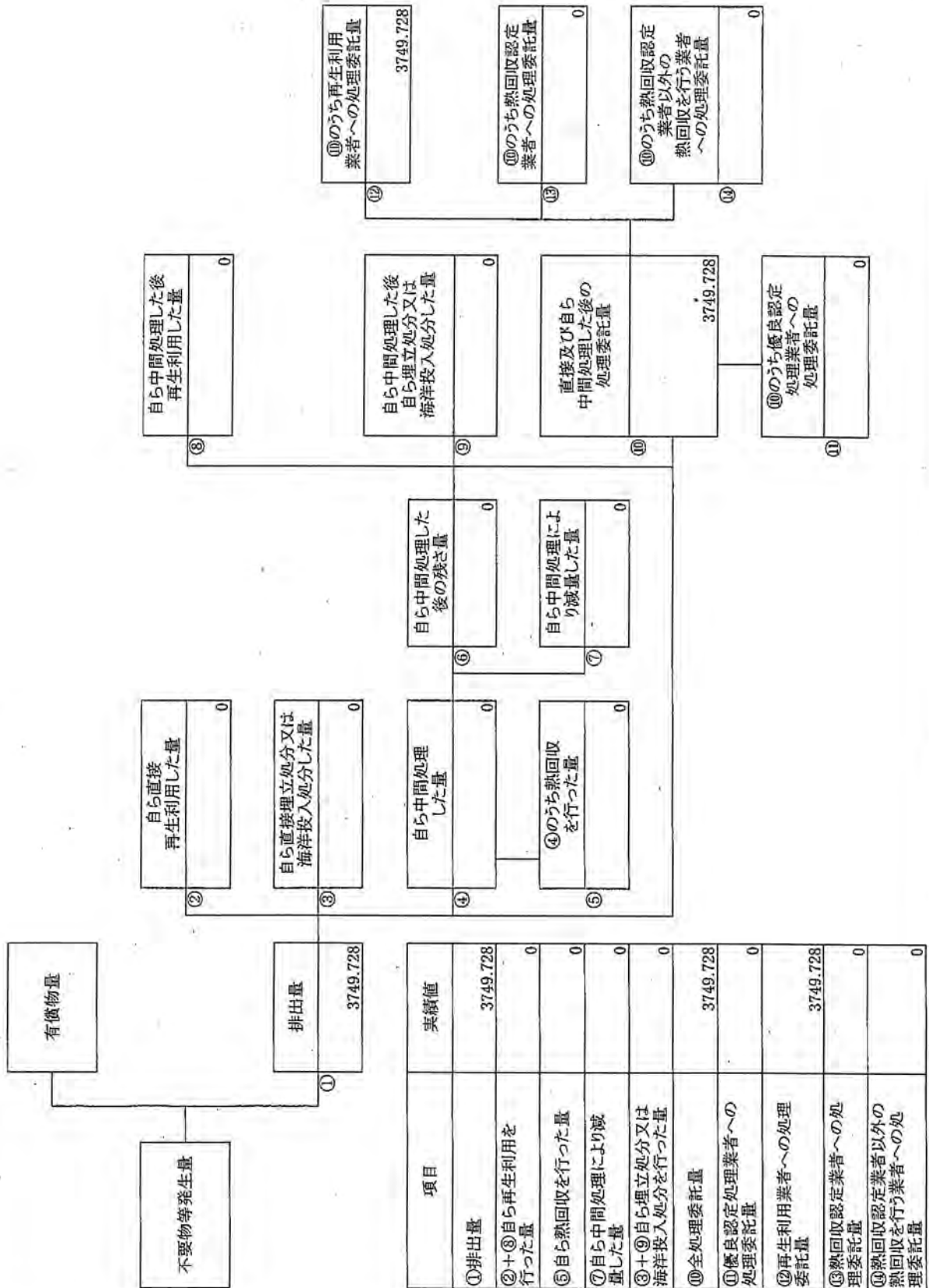
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)



## 計画の実施状況

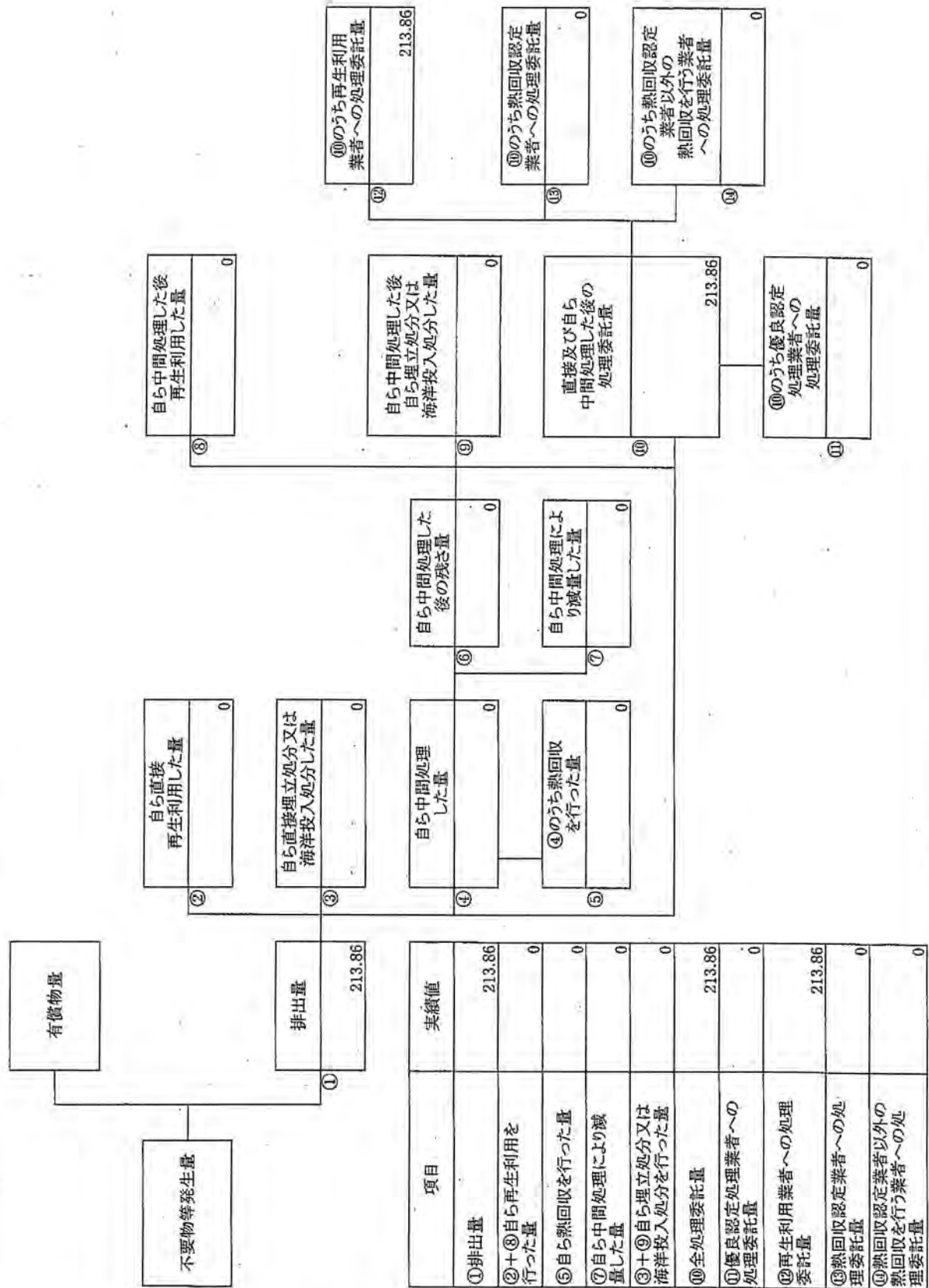
(産業廃棄物の種類: コンクリート片)





## 計画の実施状況

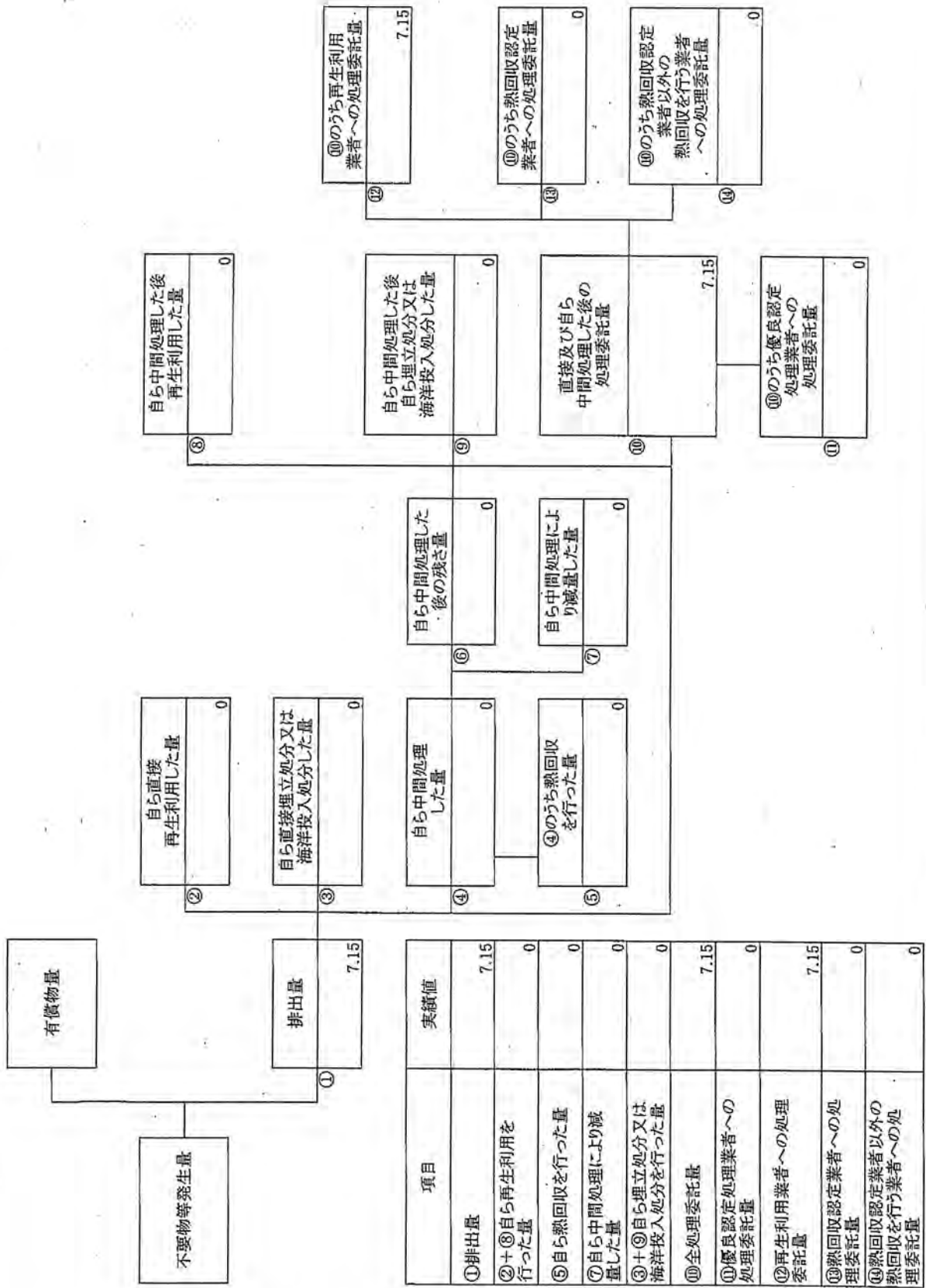
(産業廃棄物の種類: 廃アスファルト)





## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)



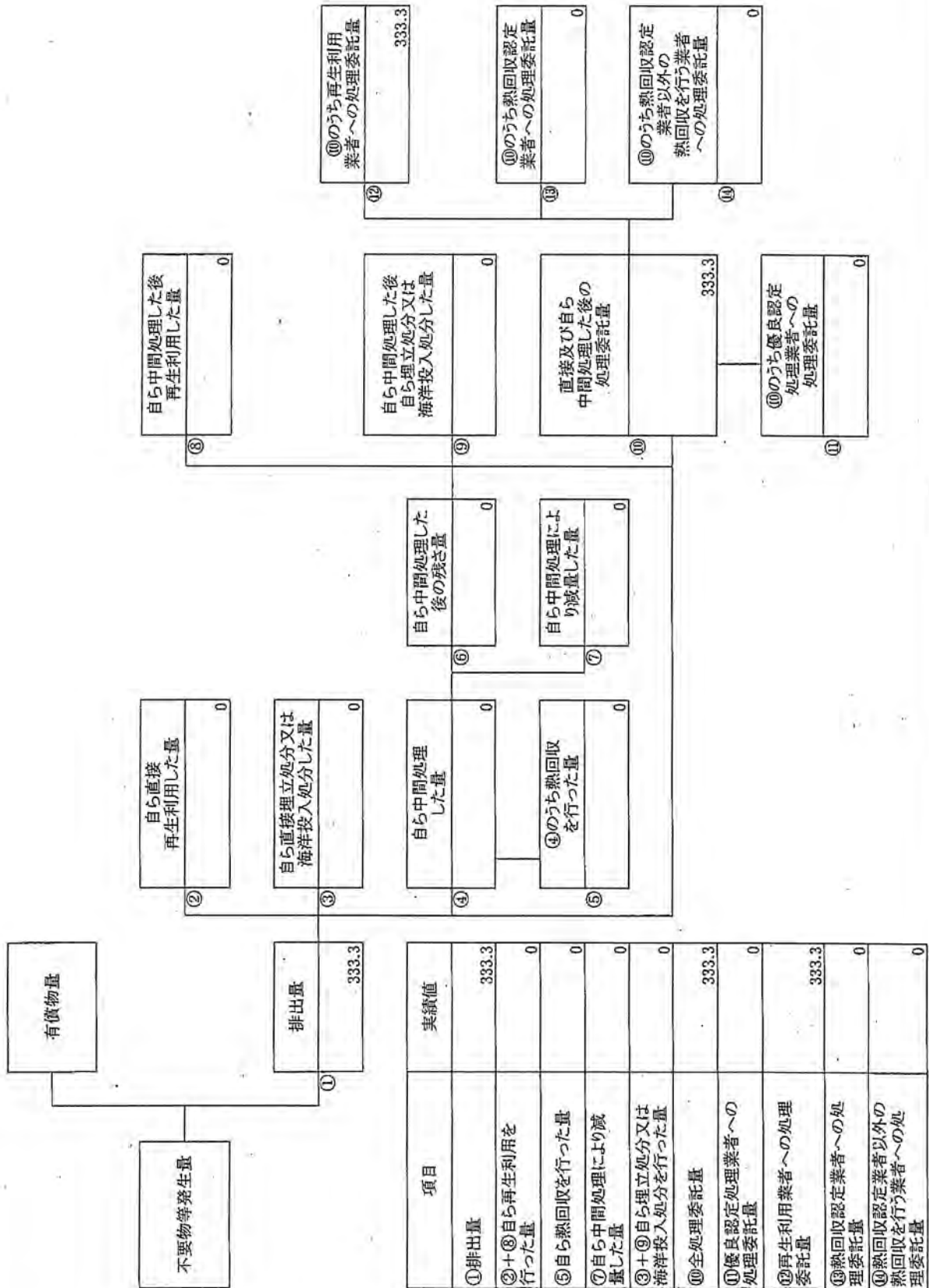
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

有償物量		不要物等発生量		排出量		実績値	
				①	9.9	①排出量	9.9
② 自ら直接再生利用した量		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		④ 自ら中間処理した量	0	②+③+④自ら再生利用を行った量	0
0		0		⑤ ④のうち熱回収を行った量	0	⑤自ら熱回収を行った量	0
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量		⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		⑥ 自ら中間処理した後の残量	0	⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
0		0		⑦ ⑥のうち熱回収を行った量	0	⑧ ⑦のうち熱回収を行った業者への処理委託量	0
⑩ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量		⑪ ⑨のうち優良認定処理業者への処理委託量		⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	9.9	⑪ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0
9.9		0		⑫ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑫ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		⑬ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量					
0		0					
⑭ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量		⑮ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量					
9.9		0					
⑯ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量		⑰ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量					
0		0					
⑱ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量		⑲ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量					
0		0					
⑳ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量		㉑ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量					
0		0					

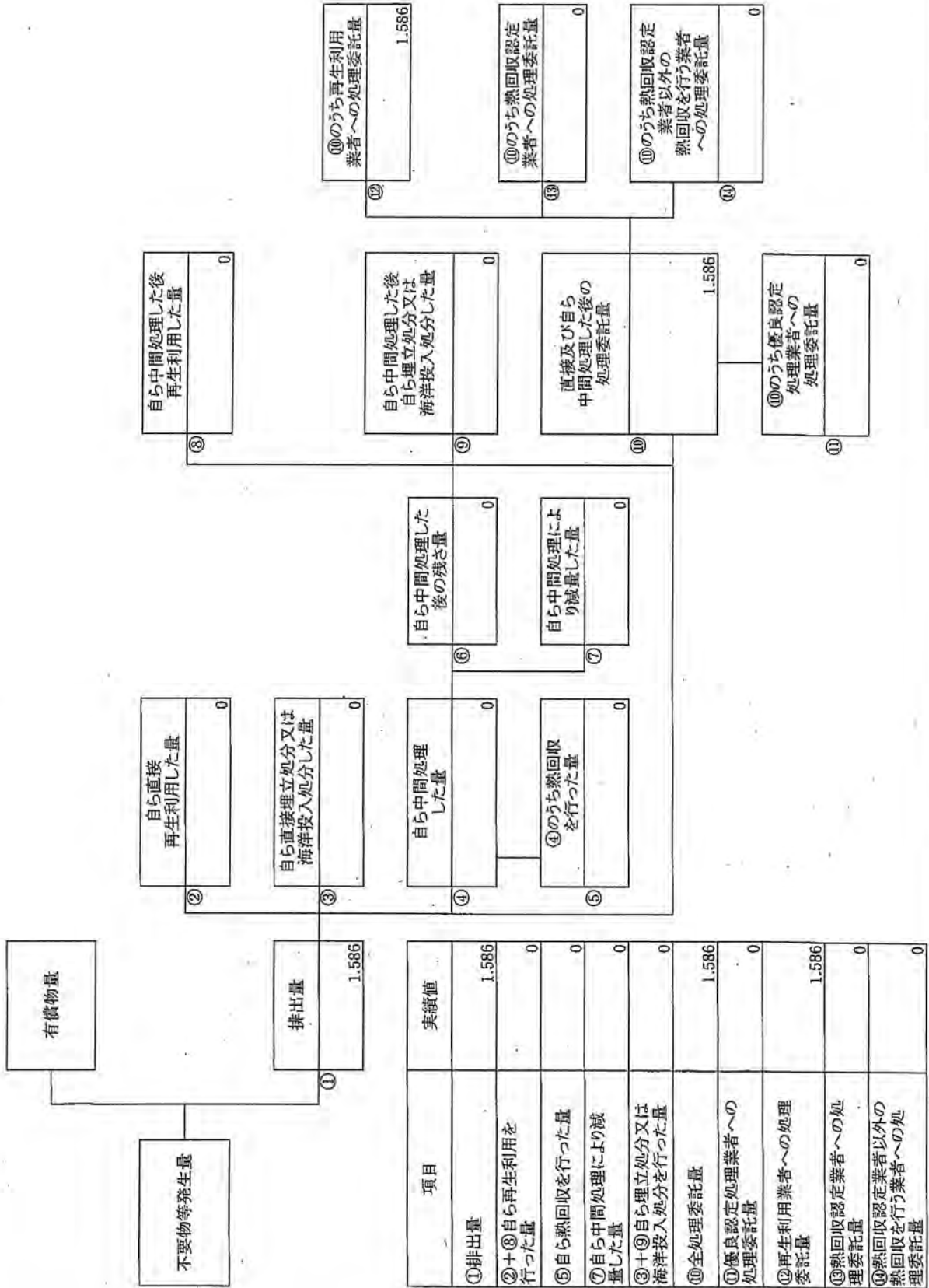
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔第2面入力支援用シート〕

名 称	処 理 場 所										計
	① 発生量 (t)	② 自社工場等 で発生した量 (t)	③ 自社工場等 で発生した量 (t)	④ 自社工場等 で発生した量 (t)	⑤ ④のうち 焼却を行った量 (t)	⑥ ④のうち 焼却を行った量 (t)	⑦ ④のうち 焼却を行った量 (t)	⑧ ④のうち 焼却を行った量 (t)	⑨ ④のうち 焼却を行った量 (t)	⑩ ④のうち 焼却を行った量 (t)	
産業廃棄物の種類	⑪ 発生量 について 焼却した量 (t)	⑫ ⑪のうち、 焼却した量 (t)	⑬ ⑪のうち、 焼却した量 (t)	⑭ ⑪のうち、 焼却した量 (t)	⑮ ⑪のうち、 焼却した量 (t)	⑯ ⑪のうち、 焼却した量 (t)	⑰ ⑪のうち、 焼却した量 (t)	⑱ ⑪のうち、 焼却した量 (t)	⑲ ⑪のうち、 焼却した量 (t)	⑳ ⑪のうち、 焼却した量 (t)	
燃え殻											
汚泥											
上水汚泥	32.12	0	0	0	0	0	0	0	32.12	0	0
下水汚泥											
建設汚泥	32.12								32.12		
その他の汚泥											
廃油	0.4								0.4		
炭酸											
炭アルカリ											
炭プラスチック類	112								112		
ゴムくず											
金属くず	0.555								0.555		
ガラス陶磁器等くず	325.3								325.3		
鉱さい											
がれき類	3963.586	0	0	0	0	0	0	0	3963.586	0	0
コンクリート片	3749.728								3749.728		
鋼スチール	213.86								213.86		
レンガ破片など											
石綿含有産業廃棄物	7.15								7.15		
ばいじん											
紙くず	9.9								9.9		
木くず	333.3								333.3		
繊維くず											
動物性残さ											
動物系固形不燃物											
動物のふん尿											
動物の死体											
政令13号物(上記廃棄物の処理等であつてこれらに該当しないもの)	1.586								1.586		
建設混合廃棄物											
合計	4785.899	0	0	0	0	0	0	0	4785.899	0	0